

## 第3回 KPU シンポジウム報告書

厳しい残暑が続く 2012 年 9 月 13 日（木）に京都薬科大学・躬行館 T31 講義室において第3回 KPU シンポジウムを開催いたしました。特別講演の演者として、神経科学領域において第一線でご活躍されている東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室の池谷裕二先生をお招きして、「メゾスコピックな視点から眺めた脳」という演題でご講演頂きました。また、一般講演として、東京大学大学院薬学系研究科 ERATO 金井触媒分子生命プロジェクト医薬機能グループで現在ご活躍中の、本学薬品化学分野前助教の相馬洋平グループリーダー、本学薬品物理学分野の土谷博之講師、同薬理学分野の大矢 進教授、同病態生理学分野の芦原英司教授および同臨床薬学教育研究センターの矢野義孝教授の5名の先生方による研究紹介を行って頂きました。まだ後期が開始していないこの時期にもかかわらず、計 259 名（1～2 年次生：2 名，3～6 年次生：203 名，大学院博士前期課程学生：2 名，大学院博士後期課程学生：11 名，社会人：1 名，教育職員：40 名）もの方々に参加していただき盛況に会を終えることが出来ました。シンポジウム終了後は、恒例となっている交流会を開催し、特別講演演者の池谷先生や一般講演演者の先生方、さらには乾学長を囲んで多くの学部学生が質問している姿が見られ、18 時半まで賑わっておりました。最後に、今回も多くの先生方から多大なご協力を頂きましたことを深謝致しますとともに、今後とも引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

KPU シンポジウム実行委員会一同

### 第3回 KPU シンポジウム概要

日時：2012年9月13日（木） 13:30～17:00

場所：京都薬科大学躬学館 T31 講義室

開会の挨拶

乾 賢一 学長

特別講演（1）13時40分～14時30分

座長：長澤 一樹 教授

「メゾスコピックな視点から眺めた脳」

東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室

池谷 裕二 准教授

一般講演（1）14時40分～15時05分

座長：中村 誠宏 助教

「エステルを含むペプチドを利用した生物有機化学研究」

東京大学大学院薬学系研究科 ERATO 金井触媒分子生命プロジェクト医薬機能グループ

相馬 洋平グループリーダー

一般講演（2）15時05分～15時30分

座長：石原 慶一 講師

「非アルコール性脂肪性肝疾患とレチノイド」

土谷 博之 講師（薬品物理化学分野）

一般講演（3）15時30分～15時55分

座長：北村 佳久 准教授

「イオンチャンネル創薬-カリウムチャンネル研究を中心に-」

大矢 進 教授（薬理学分野）

一般講演（4）16時10分～16時35分

座長：中田 徹男 教授

「Wnt/ $\beta$ -catenin 経路を標的としたがん治療開発」

芦原英司 教授（病態生理学分野）

一般講演（5）16時35分～17時00分

座長：安井 裕之 教授

「薬物動態／薬効／副作用を評価・予測するためのファーマコメトリクス」

矢野義孝 教授（臨床薬学教育研究センター）

閉会の挨拶

加藤 伸一 准教授

茶話会 17時～18時30分

